

令和 2 年度

第 2 回永明公民館運営推進委員会資料

(1) 令和 2 年度永明公民館事業報告について

子育て、親子支援に関する仕掛け

- ・ えいめい・きょうあい子育てひろば (P 1)
- ・ プレパパ・プレママ講座 (P 2)
- ・ ベビープログラム (P 3)
- ・ すくすくひろばオンライン「コロナの中での気持ちがちょっと楽になる子育てのポイント」(P 4)
- ・ パパ講座～パパのための子育てミーティング～ (P 5)
- ・ 永明すくすく子育て教室 (P 7)
- ・ 子どもが喜ぶ読み聞かせの「コツ」(P 8)
- ・ パパと一緒におもちゃ遊び (P 8)

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け

- ・ 夏休みこどもステーション (P 9)
- ・ 秋・冬 子どもステーション (P 10)
- ・ 冬の子どもステーション (P 11)
- ・ 春の子どもステーション (P 12)
- ・ 生涯まなび塾「シニア向けスマホ使い方講座」① (P 12)
- ・ 生涯まなび塾「シニア向けスマホ使い方講座」② (P 13)
- ・ 生涯まなび塾「シニア向けスマホ使い方講座」③ (P 15)
- ・ 懐かしの名作映画鑑賞会「東京物語」(P 16)
- ・ おトクなマイナポイント駆け込み講座 (P 16)
- ・ スマートフォンでできる！確定申告実践講座 (P 17)
- ・ 捨てられない！あなたのためのお片付け教室 (P 18)
- ・ 知って得する！キャッシュレス講座入門編 (P 18)
- ・ 防災講座「地震に備え今やるべきこと」(P 19)

交流・地域ふれあいに対応する仕掛け

- ・ 古文書から学ぶ昔の暮らし (P 19)
- ・ パソコンすてっぶあっぷ講座 (P 20)

地域の人材をつなぐ仕掛け

- ・ グループ活動に活かそう！LINE 実用講座 (P 21)
- ・ 趣味と健康の講座 (P 23)
- ・ 生涯学習奨励員による公民館報への町紹介掲載事業「永明をゆく」(P 23)
- ・ 情報提供事業 (P 24)
- ・ 協力支援事業 (P 25)

(2) 平成 3 年度永明公民館運営方針について

- ・ 永明地区の地域資源 (P 27)
- ・ 永明地区の地域資源を活かしたコミュニティデザイン 2021
願い・思い編 (P 28)
仕掛ける・つなぐ編 (P 29)

資料補足説明(令和2年度 第2回公運推:書面開催)

【令和2年度 永明公民館事業報告について】

- ・公民館主催講座について、コロナの影響により、「オンライン(ZOOM使用)に変更したもの」、「日程を延期したもの」、「中止にしたもの」があります。資料中に何も記載がないものは、通常通りの対面で実施しました。
- ・今年度は、部屋の定員見直しにより、1回あたりの募集人員が少なくなっています。一方、企画した講座の種類・コマ数は、昨年度に比べ1.5倍に増えています。
- ・今月(3月)に実施予定の講座も含まれています。

【令和3年度 永明公民館運営方針(コミュニティデザイン)について】

令和2年度のものをベースに、下記を追加しています

(地域資源編)

- ・蓮花院(下増田町)を新たに追加しました
- ・「学校との連携」の中に、「専門学校」を追加しました。

※これまでの共愛学園前橋国際大学に加え、小屋原町にある山崎学園運営の専門学校(コンピュータデザイン、製菓、調理等)との連携を充実させたいため。

(仕掛ける・つなぐ編)

- ・運営方針の中に、「今の時代」「地域特性」を意識した講座の充実」という文言を追加しました。

子育て、親子支援に関する仕掛け

●えいめい・きょうあい子育てひろば(中止)

(1) ねらい

- ①子育てに本当に必要なことは何かを考える。
- ②ストレスや不安の原因を考え、対処方法を知る。
- ③参加者どうし、悩みや知恵を共有する。
- ④地域での仲間作りを図る。
- ⑤男女共同参画講座および人権講座の一環とする。
- ⑥共愛学園前橋国際大学と連携して取り組むことで、効果を一層高める。

(2) 概要

平成20年度より共愛学園前橋国際大学との共催事業として永明公民館を会場に、全回託児付きで実施。講師および託児者の手配は大学が、周知や募集を公民館が行っている。人権および男女共同参画に関する内容を含む。

対象：就学前の子を持つ保護者

申込者数：10名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/3(水) 10:15~11:45	ひとりでがんばっていませんか？(肩の力をぬいて、子育てと母親という立場を考えます)	講義	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員 前田 由美子	中止
2	6/10(水) 10:15~11:45	ココロとカラダからのメッセージを感じよう (ストレスを抱えすぎないために)	グループ ワーク		中止
3	6/17(水) 10:15~11:45	自分の体、いたわってますか？ (子育てで疲れた体への思いやり ストレッチ)	実技	A F A A認定エアロビクス インストラクター 下田 博美	中止
4	6/24(水) 10:15~11:45	子育てはだれがする？ (女性・男性みんなでやると、どう 変わる)	講義 グループ ワーク	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員 前田 由美子	中止
5	7/1(水) 10:15~11:45	子どもの人権 (尊重するってどうすること？わ がままとはどうちがう？)			中止
6	7/8(水) 10:15~11:45	子どものころ・親のころ (どうしたら通じ合う？)			中止

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染拡大による公民館の部屋利用中止に基づき、本講座も中止となった。部屋利用中止期間は6月14日までの予定であったが、その後も状況が見通せないこと、密着する託児は不可能であることから延期することなく中止の判断を下した。例年満席となる人気の講座であるが、感染を恐れてか申込者も少なかった。

●プレパパ・プレママ講座

(1) ねらい

- ①夫婦を取り巻く社会環境等を学習し、相互理解を促進する。
- ②夫婦で考え方を共有する時間を設け、育児をより一層協力して行えるような関係を作る。

(2) 概要

育児を始める前に夫婦がお互いの意見を共有する機会として開催したもの。落ち着いて話し合う時間を設けてより良い夫婦関係の構築を支援した。

対象：これから育児を始める夫婦(第2子以降可)

出席者数：3組 欠席：2組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/4(日) 10:00~12:00	①夫婦を取り巻く社会環境を中心に学習し、相互理解を促す。 ②「①」での学習を元に、パートナー同士で話し合い、より良い夫婦関係の構築を支援する。	講義 実習	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員 前田 由美子	6

(4) 評価と反省

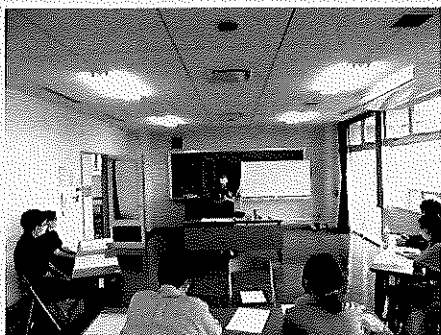
現代社会における育児の特徴(核家族化、過情報、親世代とのギャップ等)についての講義を、夫婦そろって受講し、自分達の現状を冷静に話し合う時間を提供できたことは良かったと思う。普段からお互いが思っていることを話し合っている夫婦もあり、良好な関係を作っていくためにも、このような時間を確保することが重要だと感じた。

従来ではあまりなかったタイプの講座だったため、当日の進行等に不安があったが、問題なく進めることができた。特に現在、夫婦関係に悩んでいる方にも出席してもらえたので、今回の講座で少しでも関係が改善してもらえることを願う。

参加した夫婦の関係性にもよるが、話し合いの時間配分が難しいと感じた。良好な関係であろう夫婦には長く、悩みを抱えている夫婦には適切な時間配分だったと思う。また、今回は夫婦の話し合いをフリーストーク形式で実施したが、次回実施する機会があれば、夫婦間での発言順序などを決めて行う等、ルールを決めて実施したほうがより効果的だった。

(例)妻が3分間話す → 夫が3分間話す → 夫婦で10分話し合い

※講師が講座の中で紹介



講義の様子①



講義の様子②

●親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”

(ベビープログラム:略称 BP) 桂萱・永明・城南公民館合同開催

(1) ねらい

①初めて子育てをする母親を対象に開催し、ゆったりとした母子の交流と乳児の子育て期に必要な情報交換や知識について学ぶ場とする。

②同じ月齢期の乳児とその母親を取り巻く不安や喜びを共有し、母として子どもの成長を見守るこころを育む

(2) 概要

対象：前橋市内在住の生後2～5ヶ月の第1子（令和2年4月8日～8月7日生まれ）を育てている母親とその子

在籍者数：6組 延べ出席者数：44組（全4回）

開催場所：城南公民館 和室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	組数
1	10/7 (水) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て 支援課 BP ファ シリテーター 池田 亜美 茂木 まどか	6
2	10/14 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			5
3	10/21 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			6
4	10/28 (水) 10:00～12:00	親になること ・今の私の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に			5

※ 各回 11 時 30 分から 12 時は交流タイム（自由参加）

(4) 評価と反省

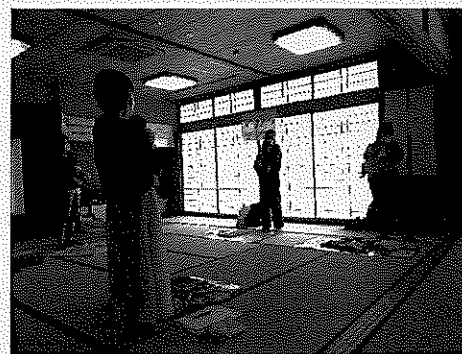
講師と主催3館において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（「新しい生活様式」に基づく利用ガイドライン）の徹底を図るなど協議を重ねたうえで実施することができた。周知方法はHPや公民館報等で行ったが、保健センターの「こんにちは赤ちゃん事業」等からの直接勧誘により申し込む方が多かった。受講後アンケートでは、「育児に対して新しい見方や考え方が得られた。色々な子育てがあってよいと分かり心が軽くなった。」など、母親の心境の変化が窺える明るい感想が寄せられていた。一方、母親同士の交流の機会が得られずストレスを相談される方もあり、コロナ禍の影響が感じられた。

交流タイムは全員参加し、育児の悩み相談や身近な情報など会話を弾ませていた。受講中は全員が落ち着いた雰囲気でき意見交流を深めている様子であり、子育て期の不安解消に役立つものであったと思う。

講座終了後も子育てグループとして公民館利用を勧めたものの、全員育児休業期間中の事情もあり実現に至らなかったが、連絡先を交換し合うなど確実につながっていく様子が見受けられ、所期の目的を実感できるものとなった。また、終了後の交流を支援するねらいで次期講座を紹介したところ、全員の参加希望があった。今後も、母親が同月齢期の子の成長をお互い確かめ合いながら、交流を深められる機会を検討したい。



間隔をあけて会話する様子



お互いの交換抱っこができず、わが子を抱っこ

●永明すくすくひろば～オンライン～「コロナの中での、気持ちがちょっと楽になる子育てのポイント」

(1) ねらい

- ①虐待が子どもの発達に及ぼす影響を、親を追い詰めることなく伝える。
- ②子育て中の親の交流を図り、悩みを共有する。
- ③ストレスや不安の減少を図り、穏やかな気持ちでの育児に繋げる。

(2) 概要

対象：就学前の子どもをもつ保護者

在籍者数：22人 延べ出席者数：38人

(3) 内容

<11月コース>コロナ下の親のころ・子どものころ

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/4(水) 10:00～11:00	コロナ下の親のころ	講義 情報交換 (オンライン)	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員 前田 由美子	8
2	11/6(金) 10:00～11:00	コロナ下の子どものころ			11

<12月コース>さまざまな影響を考えて、今を過ごす

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/2(水) 10:00～11:00	「数年後・コロナの後 の子ども」をかんがえる	講義 情報交換 (オンライン)	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員 前田 由美子	10
2	12/4(金) 10:00～11:00	「あなたの数年後」と 今日の子育て			9

(4) 評価と反省

外出自粛や生活不安などによる親のストレス増加や児童虐待が懸念されることから、ズームを使用したオンライン講座を企画。子どもの世話をしながらでも参加できるよう、講義を30分、10分の休憩を挟み、希望者による情報交換を20分行った。ズームのシステム上、制限時間が40分に限られているため、休憩中に再接続することとした。

講義は、コロナ下で親子に起こっている問題と対処法、先を見据えた子育てなど、今の親の不安に応える内容であった。情報交換は、順番に担当職員が指名した人が発言し、最後に講師のコメントを頂く方法で行った。初回はテーマを提示したが、徐々に受講者から悩みや疑問が出され、それについて皆が意見を述べるなど、予想以上に積極的な情報交換の場となった。アンケートには、「受講して心が軽くなった」という声が多く寄せられ、講座の目的を概ね達成できたものと思う。

一方、慣れないズームの操作で手一杯になってしまったことや、受講者のズームのトラブルに迅速に対応できなかったなどの反省点が挙げられる。充実したオンライン講座を実施するためには、担当者のスキルアップが必要であると感じた。

集まるのが難しく、託児ができない状況下で、やむを得ず実施したオンライン講座であったが、「手軽に参加できて良い」といった肯定的な意見も寄せられ、今後の更なる活用方法を検討したい。



講師の様子



受講者の様子

●パパ講座～パパのための子育てミーティング～

(1) ねらい

- ①子育て等に関する知識を学び、日頃の悩みをパパ同士で共有する機会を提供することで、子育てに対する不安感や負担感の軽減を図る。
- ②座学だけではなく、フリートークの時間を多く設け、パパ同士が自発的に交流するきっかけを作る。

(2) 概要

普段、知り合う機会が少ないパパ同士で学習・交流する場として開催したもの。子育て全般について学習するとともに、「パパ友づくり」の場としてフリートークの時間を多く設定した。

対象：子育て中（予定）のパパ

在籍者数：7人 延べ出席者数：10人

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/12(土) 10:00～12:00	・基本的な子どもの発達やパパの育児との関係、夫婦関係の変化などを学ぶ。 ・参加者同士が交流する機会とする。	講義 実習	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員 前田 由美子	7
2	2/28(日) 14:00～15:00	・労働環境や社会環境、コロナ禍での育児について学ぶ。 ・参加者同士が交流する機会とする。	講義 実習	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員 前田 由美子	3

（4）評価と反省

【1日目】

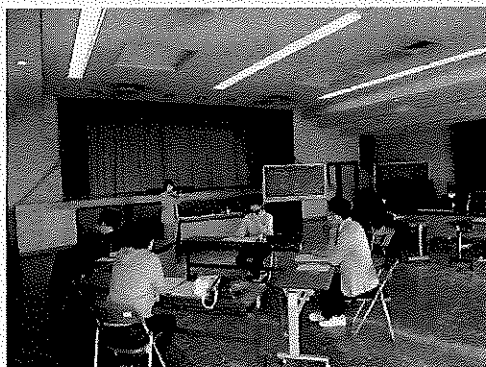
子どもが「社会の中で人間関係を解決する力を養う（自立）」という最終目標を達成するためには、親が最初の信頼できる「他者」としてどのような接し方をすれば良いのか、パパの育児が夫婦関係にどのような変化を与えるのかなどを客観的なデータ・視点に基づいて講義していただいた。子どもの人権についての内容も盛り込まれており、子育て中（予定）の参加者にとって有意義なものだった。

参加者同士のフリートークの時間は、グループごとに司会進行役を決めて行った。話し始めは固い印象だったが、次第に盛り上がり、時間が足りない様子だった。フリートークでは、「市の産後ケア制度を使い赤ちゃんと夫婦で産院に宿泊する。夜間は看護師に見てもらい、夫婦でゆっくりと休む予定」や「夫婦で育児書の情報を話し合って共有している。話し合うことで喧嘩も減っている。」などの話がされていた。今回の参加者は育児に前向きに取り組んでいる方が多く、情報交換という点でも有意義な時間となったようだ。

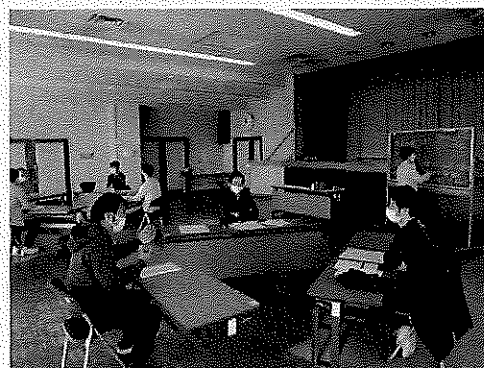
参加者に1月開催予定の「おもちゃ講座」のPRを行ったところ、早速、1名の方からお申し込みいただいた。普段、公民館を利用することが少ない子育て世代（パパ）が、公民館に興味を持つきっかけを提供できたと思う。

【2日目】

12/19に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症群馬県警戒度が4に引き上げられたため2/28に延期したが、同日まで継続となったことから「オンライン」で開催。



講義の様子（1日目）



グループワークの様子（1日目）

●永明すくすく子育て教室

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②居場所や悩み相談の機会を提供し、親のストレス軽減を図る。
- ③専門機関と連携することで効果的に実施するとともに、講座終了後も継続した支援が受けられる機関として周知を図る。
- ④自宅で親子が楽しく過ごす一助となるよう、簡単工作の内容を広く紹介する。

(2) 概要

対象：0才（首がすわった子）～3歳の子と保護者

申し込み者数：15組 出席者数：8組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/2(火) 10:00～11:30	音♪で遊ぼう！ (リズム遊び・手遊び・ リトミック)	実技	音楽講師 長澤絵里	中止
2	2/17(水) 10:00～11:00	・「今コロナ下できをつけた こと」のお話 ・親子ふれあい遊び ・パネルシアター ・「遊びと発達」のお話	実技	市子育て支援課 保育士・保健師・臨床心理 士	12
3	2/26(金) 10:00～11:00	・かんたん工作（牛乳パック でピョンピョンガエル） ・絵本の読み聞かせ ・わらべ歌でふれあい遊び ・育児相談	実技	地域子育て支援センター・ 共愛 青木栄子	4

(4) 評価と反省

少人数（各回定員5組）の対面方式で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため公民館の部屋利用が中止。第1回は、2/9から3/2に延期したが、延期後の日程でも実施できず、やむを得ず中止とした。オンライン講座への移行について講師と検討したが、講座内容から実施は困難との結論に達した。

第2回、第3回はオンライン（ズーム）を活用して実施。オンラインでできる内容に変更し時間も30分短縮した。実技を伴うオンライン講座は、当館職員、講師とも初めてで戸惑いが大きかったが、リハーサル等を行うことで何とか開催に漕ぎつけることができた。当日は、予想以上に親子で楽しんでいる様子がうかがえ、コロナ下でも講座を届けることができ大変良かったと思った。また、虐待防止等の目的で、あらためて子育て支援課や地域子育て支援センターの利用を紹介することができた。一方でオンラインでは参加しないという受講者もあり、そのような人に対する対応が課題であると感じた。

第3回で行った工作について、自宅で親子が楽しく過ごす一助となるよう作り方をホームページや公民館報に掲載するとともに、公民館窓口でも配布する。

●子どもが喜ぶ読み聞かせの「コツ」～お気に入りの絵本で練習しよう～ (中止)

(1) ねらい

- ①平日に参加できないパパも、講座に参加できる機会を提供する。
- ②読み聞かせを通して、家庭内等での子どもとのコミュニケーションを促進する。
- ③地域の団体を講師に招き、地域内の学びの循環の機会とする。

(2) 概要

子どもの発達に有効な読み聞かせの方法を学習するもの。仕事等で平日の参加が難しい方向けに休日開催とした。

対象：概ね年少から小学校3年生の親子等 10組

申込者数：9組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/7(日) 10:00～11:00	・講師による読み聞かせ&ポイント解説 ・お気に入りの絵本で読み聞かせ練習	講義 実技	駒形読み聞かせの会	中止

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染拡大防止のため公民館の部屋利用が中止となり、当初予定していた2/21を3/7に延期したが、県警戒度4が継続されたため中止。

●パパと一緒におもちゃ遊び～知育ブロックでコマ作りに挑戦～(中止)

(1) ねらい

- ①平日に参加できないパパが、子どもと一緒に参加できる機会を提供する。
- ②母親がリフレッシュする時間をつくる。
- ③父親同士が交流する場の提供。
- ④遊びを通して良好な親子関係をつくる。

(2) 概要

子どもとパパが一緒に参加する機会として開催するもの。大人も楽しめる知育ブロックを使い、遊びを通して親子のコミュニケーション促進を支援することが主な目的。

対象：概ね3歳から年長までの親子

申込者数：10組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	2/28(日) 10:00～12:00	・ブロックで親子一緒にコマを作る。 ・作ったおもちゃで親子で遊ぶ。 ・子ども同士、パパ同士で交流。 ・おもちゃの効果や特徴を学ぶ。	講義 実技	黒田人形店	中止

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染拡大防止のため公民館の部屋利用が中止となり、当初予定していた2/21を3/7に延期したが、県警戒度4が継続されたため中止。

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け

●夏休み子どもステーション

(1) ねらい

- ①夏休み中に、学校区や学年が違う子どもたちが集まる機会を設け、地域の子ども達の仲間づくりを図る。
- ②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。また、プログラミング体験を通じ、論理的思考・アイデア実現力等の向上を図る。
- ③公民館利用団体や地域の団体を講師にすることで知の循環を図る。また、地元企業・大学を講師にすることで地域資源の活用を図る。

(2) 対象者

前橋市内在住の小学生を対象に実施。

延べ出席者数：59人（開設日 夏休み中の3日間）

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	8/4(火) 10:00～11:00	オンライン英語 DE クイズ王	1～3	オンライン学習	NPO教育支援協会北関東	3
2	8/4(火) 13:30～14:30		4～6			4
3	8/5(水) 10:00～11:30	わくわくプログラミング	1～3	実習	(株) ジーシーシースタッフ	13
4	8/5(水) 13:30～15:00		4～6			14
5	8/19(水) 9:00～11:30	カラフル絵画教室	1～6	実習	永明水彩画クラブ	15
6	8/20(木) 10:00～11:00	オンライン子ども工作室	1～6	オンライン学習	前橋工科大学 准教授 北野敦則	10

(4) 評価と反省

新型コロナウイルスの影響により講座科目が例年よりも少なくなったものの、三密に配慮した対面形式に加え、オンライン会議アプリ Zoom を利用した講座も開催した。

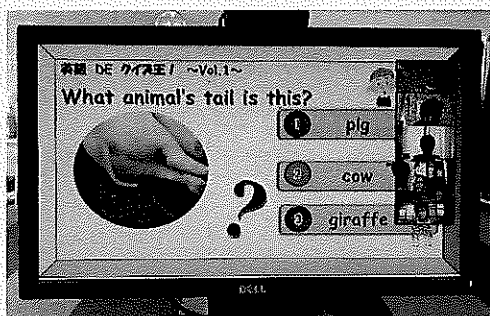
対面講座は例年同様に定員を超える申込みがあったが、オンライン講座は申込みが少なかった。初めてのオンライン講座であり、アプリの利用に抵抗感がある保護者が多かったと思われるため、スマホやタブレットで簡単に参加できること

等、オンライン講座の魅力を伝えていく必要性を感じた。

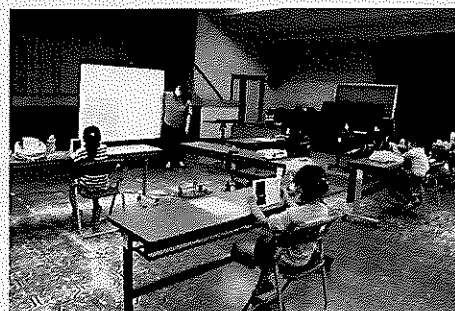
一方で、少人数での開催になったことから、オンラインでありながら参加者一人一人の顔を見ながら開催できるというメリットも確認できた。今後オンラインによる体験講座を開催する際は、講座回数を増やすなど、一回の参加人数を少なくする調整をしたい。

また、例年は土曜日に各講座の参加希望者を一堂に集めた抽選会を行っていたが、三密対策が難しいことや、当日都合が悪く抽選会に参加できないという保護者等の意見より、初めてネット申込みを採用した。

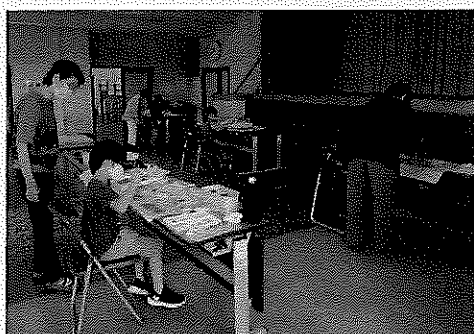
ネット申込みについて保護者等にアンケートを行ったところ、好きな時間に申し込みができ使いやすい等の好意的な評価が大半を占めていたため、今後も若年層向けの講座では積極的に利用していきたい。



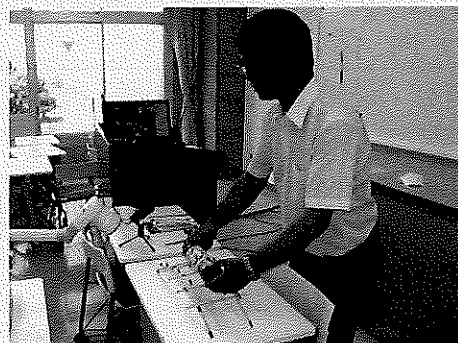
オンライン英語 DE クイズ王



わくわくプログラミング



オンライン子ども工作室



カラフル絵画教室

●秋・冬 子どもステーション

(1) ねらい

- ①学校や学年の違う子ども達の交流や地域における世代間の交流を図る。
- ②地域の団体や公民館利用団体を講師にすることで知の循環を図る。
- ③運動（主に短距離走）が苦手な小学生の意識を克服し、自信に繋げる。
- ④コロナ禍で減っている運動の機会を設け、体力づくりのきっかけとする。

(2) 対象者

前橋市内在住の小学生を対象に実施。

延べ出席者数 20人

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	11/14(土) 9:00～11:00	かけっこ教室	3～6	実技	前橋市陸上競技協会 理事長 吉野 宏	20
2	12/28(月) 9:30～11:30 ※中止	書初め教室		実習	永明ペン字クラブ 勅使川原 葉子 他 6 名	—

(4) 評価と反省

かけっこ教室は、単に希望者を募るのではなく、走るのが苦手な子どもを対象とすることで参加者の実力差を減らすとともに、走ることへの苦手意識を少なくすることを目的に初めて開催した。単に走り方を教えるだけではなく、走ることの楽しさを知ってもらおうよう、リレーバトンの受け渡しやエンドレスリレーも行った。初めは緊張している子や、若干嫌々参加する子も見受けられたが、最終的にはどの子どもも楽しく参加してくれたと思う。

書初め教室は、毎年人気の講座であり今年も定員を超える申込みがあったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため公民館の部屋利用中止に伴い、本講座も中止となった。



かけっこ教室

●冬の子どもステーション(中止)

(1) ねらい

- ①学校や学年が違う子どもたちの交流や地域における世代間の交流を図る。
- ②自ら体験・作製し、完成した時の満足感を得ることで、子どもの興味・関心の幅を広げるきっかけとする。
- ③公民館利用団体を講師にすることで、知の循環を図る。

(2) 対象者

前橋市内在住または在学の小学生を対象に実施。

申込者数 9 人

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	2/20(土) 10:00～12:00	もこもこマフラーを作ろう！	3～6	実技	永明あみもの教室 永井 良子 他 2 名	—

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染拡大防止のため公民館の部屋利用が中止となり、当初予定していた1/9を2/20に延期したが、県警戒度4が継続されたため中止。

●春の子どもステーション(実施予定)

(1) ねらい

- ①学校や学年が違う子どもたちの交流や地域における世代間の交流を図る。
- ②公民館利用団体を講師にすることで、知の循環を図る。地域の専門学校と連携することで今後の事業拡大に繋げる。
- ③来年度の学習指導要領において中学生のプログラミング授業が拡充するにあたり、事前に体験することで楽しさや仕組みを知り興味を持ってもらう。
- ④体験学習を通じて、子どもの主体性や想像力の向上を図る。また、論理的思考アイデア実現力の向上を図る。
- ⑤自ら体験・作製し、完成した時の満足感を得ることで、子どもの興味・関心の幅を広げるきっかけとする。

(2) 対象者

前橋市内在住または在学の小中学生を対象に実施。

申込者：第1回12名、第2回37名（2月24日時点）

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	3/21(日) 14:00～16:00	中学生向け講座 ゲームプログラミングに挑戦しよう！	中学校 1～3	実技	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 本多 学 他1名	—
2	3/30(火) 10:00～11:30	おふろの入浴剤（バスボム）を作ろう！	小学校 1～6	実技	バスボム・バスソルト認定講師 本多 さゆり	—

(4) 評価と反省

開催後記載

●永明生涯まなび塾 「シニア向けスマホ使い方講座①」

(1) ねらい

- ①新型コロナの感染拡大により、対面での交流が難しい中でも、人とつながる手段となるアプリの使い方を学ぶ。
- ②高齢者のコミュニケーションの増加、孤立防止につなげる。
- ③高齢者の生きがい作りや生活の利便性向上につなげる。
- ④オンライン会議など、地域活動への活用を期待する。

(2) 概 要

対象：市内在住で概ね60歳以上の人

在籍者数：27名 延べ出席者数：41名

(3) 内容

ラインはじめてコース

回	月 日	学習主題・内容	講 師	学習方法	人数
1	8/25(火) 10:00~11:30	・ラインとは ・よく使う機能(トーク・タイムライン等) ・友達追加 等	(株)ジーシーシー スタッフ	講義 実習	14
2	8/26(水) 10:00~11:30	・トークの練習 ・スタンプ追加 ・写真の送信と保存 ・ビデオ通話の実演 等			14

ズーム体験コース

回	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習方法	人数
1	8/25(火) 14:00~15:30	・ズームとは ・タブレット端末で体験 ・アプリダウンロードの方法 ・使用上の注意 等	(株)ジーシーシー スタッフ	講義 実習	13

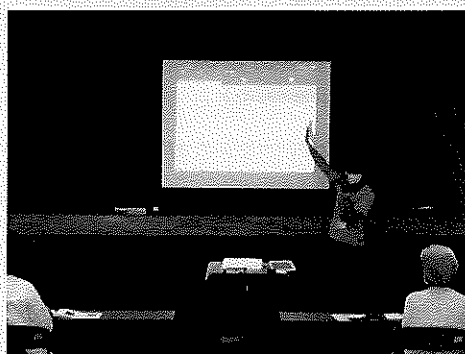
(4) 評価と反省

ラインコースでは基本的な機能を学んだ後、自分のスマホを使用し講師とお友達になりトークの練習をした。わかりやすい言葉や音声入力の使用など、操作が苦手な高齢者に配慮した指導内容であった。ビデオ通話はデータ量を多く使用するため、講師の実演のみとなり少々残念であった。

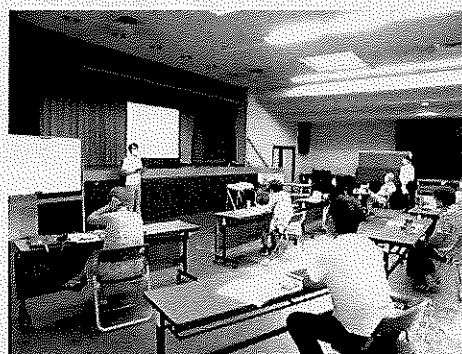
ズームコースでは講師が用意したタブレット端末を使用し、講師がホスト、受講者は招待される側として体験した。短時間ではあったが、新型コロナの影響で急速に広まったzoomの機能をについて学ぶことができた。

一方で、参加者のレベルやスマホの機種が異なり個別対応が多くなるため、定員と講師の人数の割合、学習内容や量を検討する必要があると思われる。

両コースとも満席となる人気ぶりで、積極的に受講している様子からも高齢者のスマホに対する学習意欲は大変高いことがわかった。アンケート結果も好評であることから継続して実施していきたい。



講義の様子



受講者の様子

●永明生涯まなび塾「シニア向けスマホ使い方講座②」

(1) ねらい

- ①スマートフォンの活用により高齢者の孤立を防止する。

②高齢者の生きがい作りや生活の利便性向上につなげる。

③情報格差の解消を目指す。

④地域活動への活用を期待する。

(2) 概 要

対象：市内在住で概ね60歳以上の人

出席者数：48名

(3) 内容

スマホ体験コース「スマホって何ができるの？」

回	月 日	学習主題・内容	講師	学習方法	人数
1	11/17(火) 10:00~12:00	・スマホの基本的な操作 ・カメラの使い方 ・インターネット検索 等	ドコモショップ前 橋東店	講義 実習	15

アプリの使い方コース「地図アプリで調べる！トラベル！～旅行計画を立てよう～」

回	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習方法	人数
1	11/18(水) 10:00~11:30	・スマホの基本的な操作 ・インターネット検索(旅行先の 情報収集) ・地図アプリの使い方 ・カメラの使い方(記録に残す) 等	NPO 教育支援協会 北関東	講義 実習	16

SNSコース「つながろう！簡単操作で今日から始めるインスタグラム」

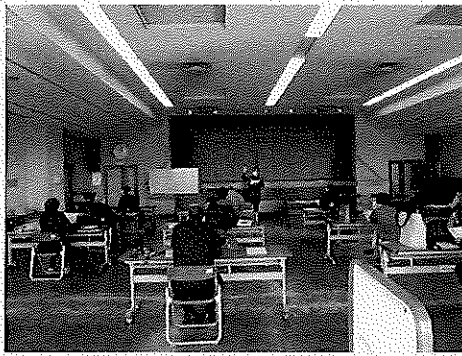
回	月日	学習主題・内容	講師	学習方法	人数
1	11/25 (水) 10:00~11:30	・SNSについて ・インスタグラムについて ・インスタグラムの投稿方法 等	NPO 教育支援協会 北関東	講義 実習	17

(4) 評価と反省

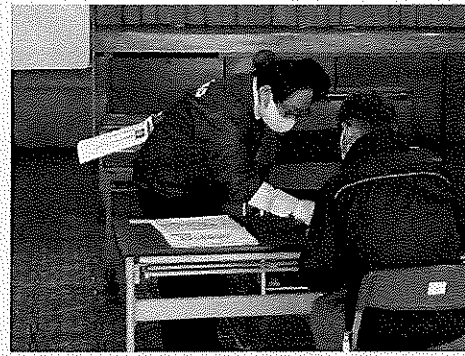
「スマホ使い方コース①」に引き続きレベルの異なる3コースを実施。スマホ体験コースは、スマホを持っていない人と購入したばかりの人を対象とし、電源の入れ方から学んだ。講師は日々接客していることから様々な質問等に迅速に対応していた。今回、全員がスマホを所持者であったが、今後も情報格差解消のため、端末の貸出が可能な携帯会社と連携した講座を続ける必要があると思う。

アプリの使い方コースはスマホ初心者を対象とし、旅行に行く想定で身近な内容とした。SNSコースは、インスタグラムに投稿したい人およびSNSについて詳しく知りたい人を対象とし、前半は講義、後半はインスタグラムの投稿方法を学んだ。投稿を希望しない人はラインで写真を送る練習をした。NPO教育支援協会は6名(内2名は大学生)体制で、個々の質問にも丁寧に対応してくれた。「身近に質問できる人がいないので、とても助かった。」という声が多く聞かれた。

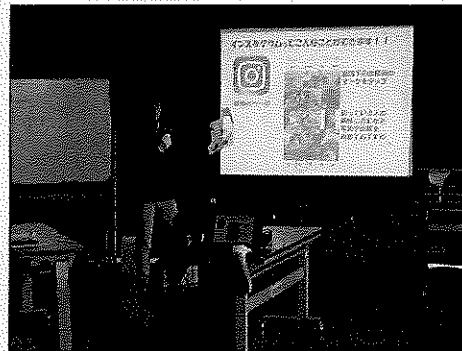
全コースとも定員の2～3倍の申し込みがあり、アンケート結果も好評だったことから、内容を検討しながらスマホ講座を継続していきたい。



「スマホ体験コース」講義の様子



質問に対応する様子



「SNSコース」講義の様子



質問に対応する様子

●永明生涯まなび塾「シニア向けスマホ使い方講座③」(実施予定)

(1) ねらい

- ①スマートフォンの活用により高齢者の孤立を防止する。
- ②高齢者の生きがい作りや生活の利便性向上につなげる。
- ③情報格差の解消を目指す。
- ④地域活動への活用を期待する。
- ⑤前回開催した同様の講座の際、定員の関係で受講できなかった方に学ぶ機会を提供する

(2) 概 要

対象：市内在住で概ね60歳以上の人

申込者数：45人

(3) 内容

スマホ初心者コース

回	月 日	学習主題・内容	講師	学習方法	人数
1	3/16(月) 10:00~12:00 ※3/8から延期	・スマホの基本的な操作 ・カメラの使い方 ・インターネット検索 等	NPO 教育支援協会 北関東	講義 実習	—

ライン体験コース

回	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習方法	人数
1	3/10(水) 10:00~12:00	・ラインの基本説明、使い方 等	ドコモショップ前 橋東店	講義 実習	—

アプリの使い方コース

回	月日	学習主題・内容	講師	学習方法	人数
1	3/11 (木) 10:00~11:30	・便利なアプリ紹介 (地図、ラジオ等) ・検索、ダウンロード方法	(株)ジーシースタッ フ	講義 実習	-

(4) 評価と反省

開催後記載

●「懐かしの名作映画鑑賞会『東京物語』」

(1) ねらい

- ① “家族” “老い” をテーマにした名作映画を鑑賞する中で人権尊重の意義を知る。
- ② 地域住民の交流を図る
- ③ 懐かしい映画を鑑賞する中で、自らが歩んできた人生の足跡をたどり、明日からの生活に自信をもたせる

(2) 概要

12月4日から10日まで人権週間。これにちなんでの人権学習教材の映画を上映し、人権尊重の機運を高めるために一般市民を対象に開催した。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/13 (日) 9:30~11:52	映画 小津安二郎監督『東京物語』	映画鑑賞	担当職員	23

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者から健康状態チェックシートの提出・検温の実施等を行った上、開会前にはソーシャルディスタンスの確保に努めていただくようお願いを行った。

昨年夫を亡くされたという70代女性の方は、一人暮らしでこもりがちであり知人友人とも逢う機会がほとんどなかったとのことだが、今回映画会ということで公民館をひさびさに訪問。グループ連協紹介のコーナーに足を止め、何らかのサークルに入会し、仲間や趣味をつくりたいと語っていた。このような催事が公民館活動全体の活性化につながることを期待したい。

●おトクなマイナポイント駆け込み講座

(1) ねらい

- ① 制度への理解とマイナンバーカードの普及を図る。
- ② 制度を活用した地域での消費生活の活性化。
- ③ 正しい知識を理解することで、経済的損失や悪質商法被害等の不利益防止を図る。

(2) 概要

対象：原則として市内在住・在勤・在学の一般市民

在籍者：12名 出席者数：11名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/16(水) 10:00～11:10	・マイナンバーカードについて (利用方法・入手方法など) ・マイナポイントについて(制度 の解説、支援窓口の案内、よく ある疑問とその回答)	講義	市未来の芽創造課 職員	11

(4) 評価と反省

マイナポイント制度利用の前提条件であるマイナンバーカードの取得について、カード取得者は全参加者11名中4名にとどまった。講師もこのことを予測してか、マイナンバーカード制度全体についてマイタクなど具体的な例を挙げながら、親切かつ簡潔に説明をいただいた。未取得者にありがちな制度への不信不安などにも言及し、マイナンバーカードそのものへの理解を高め、カードの普及にも役立ったのではないかな。

マイナポイント制度については、キャッシュレス決済制度自体へのなじみが少ないことや、参加者の取得率が低いこともあり、ピンとこない人もいたように思える。多岐にわたる選択肢(対象事業)の中から最適解を出すことは難しいが、今回の講座が制度利活用の一助になれば幸いである。

●スマートフォンでできる！ 確定申告実践講座(中止)

(1) ねらい

- ① 混雑が予想される確定申告の会場に行かないことで、新型コロナウイルス等の感染及びまん延を防止する。
- ② 税務署職員の指導により、確定申告にかかる申告者の負担・不安軽減を図る。
- ③ スマートフォンを介した確定申告を経験してもらうことで、電子申請に親しみ、自信を深めてもらう。

(2) 概要

永明地区在住でスマートフォンを使用している方、先着20名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	申込者数
1	1/25(月) 9:00～12:00	・ID及びパスワードの発行(未 所持の人のみ) ・スマートフォン申告方法解説 ・各自のスマートフォンを用い た申告作業	講義 及び 実技	前橋税務署	25

(4) 評価と反省

市民生活にとって必要かつ重要な確定申告。新型コロナウイルスや季節性イン

フルエンザ感染予防の見地から、申告会場に足を運ぶことなく手続きができるオンライン申告の活用が望まれる。

そのため、税務署職員を講師にスマートフォンによる申告の普及をめざしID及びパスワードの発行も行って、その場で確定申告を完結させることを目標に計画していたが、新型コロナウイルス感染が拡大し公民館の部屋利用が中止となったことから中止とした。

●捨てられない！あなたのためのお片付け教室(開催予定)

(1) ねらい

- ①住環境を整えることで心身の健康を図り、あらゆる活動に取り組むための活力を生み出す。
- ② 生活の中のムダを省くことで、あわせて各自のライフスタイルを見直し、日々の生活をより快適・効率よく経済的なものとする。
- ③ 住環境を整えることで、地震火災や家庭内でのけが予防など、安心安全な生活づくりと防災意識への関心を高める。

(2) 概要

対象：一般市民先着15名

申込者数15名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/22(月) 13:30~15:30	・片付け前の自己分析 ・片付けのポイント ・物が捨てられない人へのアドバイス	講義	整理収納アドバイザー1級 尾高 理恵子 氏	-

(4) 評価と反省

事業実施後に記載(当初3月2日を予定していたが、新型コロナウイルス感染対策のため、22日に延期した)

●知って得する！ キャッシュレス講座超入門編(開催予定)

(1) ねらい

- ①キャッシュレス決済の仕組み、メリット、デメリットを学ぶことで、消費経済での優位性を確保するための自助の力を養う。
- ②必要な金融リテラシーを見につけることで、悪質商法の被害回避や生活への不安を解消する

(2) 概要

対象：一般市民先着15名

申込者数15名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/3 (火) 10:00~11:30	・キャッシュレス決済の仕組み ・キャッシュレス、その種類と使い分け ・カード決済・スマホ決済のメリット・デメリット	講義	東和銀行経済研究所 善養寺 宏一 氏	—

(4) 評価と反省

事業実施後に記載(当初3月3日を予定していたが、新型コロナウイルス感染対策のため、15日に延期した)

●防災講座「地震に備え今やるべきこと」(開催予定)

(1) ねらい

- ①災害現場に赴いた自衛官の体験を聴き、災害発生の状況や教訓を学ぶ。
- ②永明地区の避難所や災害への備え、大規模災害発生時どう対応するかを市防災危機管理課職員の説明により、再認識と日常生活での実践や備えをうながす。

(2) 概要

対象：一般市民先着40名

申込者数：40名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/9 (火) 14:00~15:00	災害現場最前線〜そこで自衛官がみたもの〜 もしもの場合、家庭での備えと心得	講義	防衛省自衛隊群馬地方本部副本部長 垣谷 吉 氏 市防災危機管理課職員	—

(4) 評価と反省

事業実施後に記載

交流・地域ふれあいに対応する仕掛け

●古文書から学ぶ昔の暮らし

(1) ねらい

- ①古文書を保存・解読したいという地域の要望に応える(東上野町所蔵の古文書を学習教材としてとりあげる)。
- ②古文書の取扱や整理、保存の方法を学ぶ。
- ③地域住民の自主的な歴史資料の保存や解読の活動につなげる。
- ④郷土の歴史を学び興味を深めることで、郷土への愛着を深める。

(2) 概要

共愛学園前橋国際大学と連携し、地区内で発見された江戸・明治時代の古文書を活用して初心者向けの講座を開催した。

学生や勤労者等、新たな参加者をめざし、昨年度の平日夜間の開催から土曜日の昼間（午前）に変更して開催した。

対象：原則として市内在住・在勤・在学の一般市民

在籍者：22名 延べ出席者数：38名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/7（土）	・古文書を学ぶ意義	講義	共愛学園前橋国際大学准教授 野口 華世	18
2	11/14（土） 9:30～11:30	・古文書を読み解く方法 ・古文書の解読と解説			20

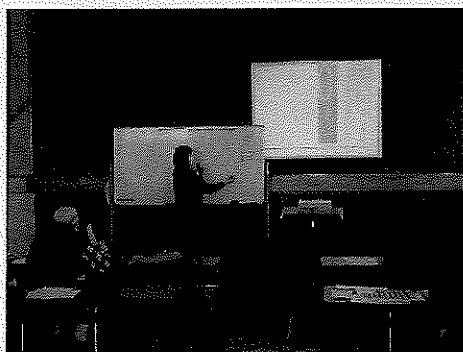
(4) 評価と反省

毎年恒例となっている古文書講座であるが、今年度は新たな受講者層の掘り起こしをねらって昨年度の平日夜間開催から土曜日の昼間（午前）に変更して開催した。

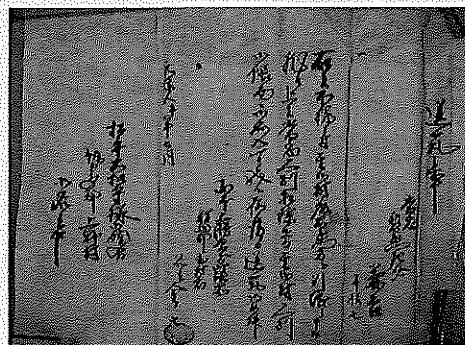
昼間開催になったことで、夜間の外出が苦手な高齢者層には好評であったが、反面勤労者・学生層の取り込みには至らなかった。

今回は、昨年度までの受講者が多いこともあり、さっそく古文書の解読にとりかかった。

今回の取り上げた文書は「入籍状」。現在の前橋市小坂子町の女性が縁組をして東上野（町）に籍を入れる手続きを終了した旨記された文書である。講師が、古文書の解説だけではなく、時代背景なども織り交ぜながら講義をしてくれたため、初めての方も楽しく学習し、地域への理解と親しみを得的機会になったと思う。



講座の様子



実際に読解した古文書

●パソコンすてっぷあっぷ講座(中止)

(1) ねらい

- ① 得た学びを地域活動（自治会活動など）に還元する。
- ② 学びの中で学生との世代間交流を図る。

- ③ 事業効果をより一層高めるため永明公民館・城南公民館・共愛学園前橋国際大学が連携して取り組む。

(2) 概 要

9月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」

対象：市内在住でローマ字入力ができる方 20名

2月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」

対象：市内在住でローマ字入力ができる方 20名

(3) 内 容・学習時間

9月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」 午前10時～正午

回	学習主題・内容・方法等	講師	人数
1	Wordを利用した	共愛学園前橋国際大学 国際社会学部の学生	中止
2	はがきの宛名面の作成①		
3	はがきの宛名面の作成②		
4	はがきの文面作成		
5	はがきの印刷		

2月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」 午前9時半～正午

回	学習主題・内容・方法等	講師	人数
1	Wordを利用した	共愛学園前橋国際大学 国際社会学部の学生	中止
2	はがきの宛名面の作成①		
3	はがきの宛名面の作成②		
4	はがきの文面作成・印刷		

(4) 評価と反省

共愛学園前橋国際大学O Aルームを会場に、永明公民館・城南公民館・共愛学園前橋国際大学が連携して開催し、例年講評を得ている。講師は同大学の学生が行うことで、大学と地域、学生と地域住民とが交流できる良い機会になっている。

新型コロナウイルス感染拡大のため、会場となる同大学構内への一般市民の入構が規制されたことで、今年度は中止となった。

地域の人材をつなぐ仕掛け（自主学習グループ・奨励員活動支援）

●「グループ活動に活かそう！ LINE実用講座」

(1) ねらい

①地区内自主学習グループの維持、拡充

②公民館利用グループ間および各グループ内の交流、親睦、情報交換の促進

(2) 概 要

永明公民館自主学習グループ連絡協議会（連協）加入サークルまたは永明地区内各施設（自治会館・集会所・公民館等）において活動している学習グループのメンバーを対象に実施。

(3) 内 容

回	月 日	学習主題・内容	講 師	学習方法	人数
1	11/30(月) 9:30~11:30	・概説(ラインとは) ・各種機能の解説 ・友だちを追加 等	(株)ジーシーシー スタッフ 小平氏、国松氏	講義 実習	18
2	12/1(火) 9:30~11:30	・トークの練習 ・スタンプの入手と追加 ・写真の送信と保存の方法 等			19

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染拡大のため自粛を余儀なくされている学習団体・サークルに対し、メンバー相互の交流や作品の発表などを通じてグループ活動や個々の学習意欲の低減を緩和するための一つのツールとしてLINEアプリの活用を提起した。

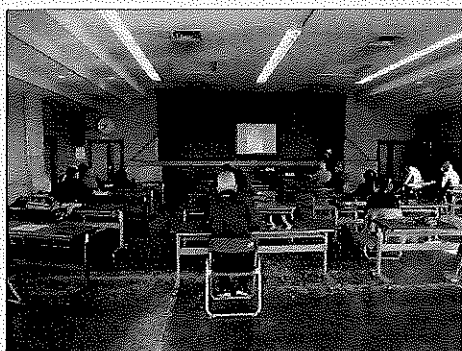
対象を連協会員に限定せず、連協加入団体以外の学習グループ団体も対象とし、連協活動の周知と加入促進を図った。

また、永明公民館以外の施設(各町の公民館・集会施設等)での学習グループも対象とすることで、各町学習グループの活動を支援し、地域全体での学習活動の活性化を図った。

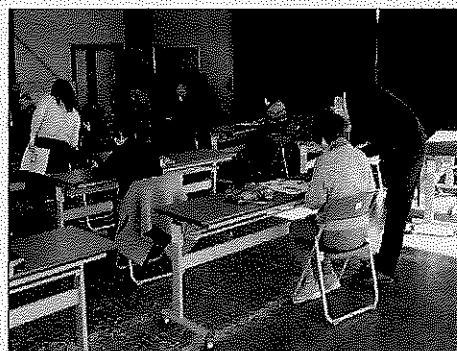
募集にあたり各自LINEアプリをインストールしての参加を条件づけており、その旨募集チラシ等で周知を図ったが、それでも未インストールの方が一名おり、準備に手間取ってしまった。

その一方で、参加者にはすでにLINEを使いこなしている方もおり、レベルの差が歴然とする結果になった。機種の違いもさることながら、操作する受講生自身のスマホそのものに対する親和性・習熟度に関わりがあったため、講師も苦慮している様子であった。今回は20名での学習であったが、事後講師からはもう一人アシスタントを追加するか定員を15名に抑えるようにとの意見があった。

このようなことから、当初の目的としてのLINEのグループ活動における活用(位置情報の共有やナビ機能等)の提案や説明にまで回らなかったが、アンケート結果からは、「とてもよかった」「よかった」が9割となり、一定の学習効果及び受講者満足度はあったと思う。



講座の様子



講師の指導で実習の様子

●趣味と健康の講座(実施予定)

(1) ねらい

- ①公民館学習グループ活動の活性化を図る。
- ②公民館学習グループと連携し、学びの地域還元を図る。
- ③地域住民の生きがいをづくりと健康づくりを目指す。

(2) 概 要

対象：地域住民一般

申込者数：15人

(3) 内 容

回	日時・会場	学習内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/未定(水) 9:30~11:30	はじめての水墨画教室	実習	齋藤 晃雲(あかぎ墨彩会講師) (協力)あかぎ墨彩会	—
2	3/10(水) 13:30~15:00	健康体操にチャレンジ!	実習	村上 君江(リフレッシュ3B講師) (協力)リフレッシュ3B	—

(4) 評価と反省

永明公民館学習するグループと共催で実施。コロナ下で外出する機会が減っている地域住民に学びの機会を提供するとともに、公民館での学びを地域に還元してもらう機会とした。さらに、グループの新規会員の獲得に繋がり会が活性化することを期待する。例会に合わせて実施することで、講師謝礼も不要とした。

当初、第1回を2/17(水)、第2回を2/24(水)に予定していたが、新型コロナウイルス感染症による公民館の部屋利用中止に基づき延期。

(評価と反省は実施後に記載)

●生涯学習奨励員による公民館報への町紹介掲載事業(永明をゆく)

(1) ねらい

- ①各町の行事や史跡などを公民館報に掲載し、住民の地域への興味、愛着の醸成を図る。
- ②紹介文の作成を通して各町の行事や歴史等を再学習・再認識する機会を提供し、生涯学習奨励員の資質向上に寄与する。

(2) 概要

- ①400字程度で町紹介文の作成を依頼。

(建制順で依頼し令和元年度から継続)

- ②館報のスペースに合わせ不定期掲載。

(3) 内容

令和2年度掲載実績(令和3年1月現在)

令和2年5月号 駒形茂兵衛地蔵尊紹介(その1)・・・駒形町

- 〃 6月号 駒形茂兵衛地蔵尊紹介(その2)・・・駒形町
- 〃 7月号 大島梨の紹介・・・・・・・・・・下大島町
- 〃 8月号 団地の垣根について・・・・・・・・下大島西団地
- 〃 9月号 下増田町の紹介・・・・・・・・・・下増田町
- 〃 10月号 我が町の奨励員の仕事・・・・・・・・天川大島本町
- 〃 11月号 我が町の公園管理・・・・・・・・天川大島原町
- 〃 12月号 思い出の一コマ(木瀬村当時)・・・野中町

令和3年2月号 永明公民館の忠霊塔について・・・上大島町(予定)

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染症により地域の行事等が中止となっている中で、各町紹介文の作成を通して、生涯学習奨励員の自学自習の機会を提供できた。

しかし、町によっては紹介できる史跡等がなく、何を紹介したらよいか苦慮している方もいた。「我が町紹介」という趣旨で寄稿を依頼しているが、今後は個人の学習成果紹介など、テーマを広げることも検討していく必要がある。

※例年、座学及び野外研修会を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、地区連絡会と協議の上、今年度の実施は見送った。

●情報提供事業

(1) 「館報えいめい」の発行

①公民館主催事業、地区内各種団体行事のお知らせ及び結果報告、行政からののお知らせ等を掲載し、毎月15日に発行している。

②A4版2ページ両面印刷で地区内全戸配付(9,349部/月)している。

(2) ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に公民館報をはじめ各種事業紹介のページを展開している。また、フェイスブックへの掲載は、随時行っている。

(3) 各町自治会会報の展示及び交換

天川大島本町・天川大島原町・野中町・上長磯町・下長磯町・女屋町・東上野町・小島田町・駒形町・小屋原町(管外)の各町で作成している会報を公民館内に展示するとともに、各町会報の交換を行っている。

(4) 団体等の印刷物の展示等

公民館利用グループ連絡協議会会報など、随時展示を行っている。

(5) 短歌・俳句交流の広場発行

A4版2ページ両面印刷で毎月15日に発行し、地区内回覧を行っている。

短歌・俳句および、写真・絵手紙等は公民館利用グループの作品を主に掲載し、地区内投稿者の短歌等作品も掲載している。

●協力支援事業

(1) 社会体育事業他への協力・援助

主催	月日	事業内容等	参加対象等	人数	会場
各実施委員会	5/10 (日)	第35回のびゆくこどものつどい 第22回ふれあいの広場	地区住民 中学生・大学生ボランティア	中止	永明公民館 木瀬中学校運動場
	10/4 (日)	第47回地区市民運動会	地区住民	中止	木瀬中学校運動場
	10/31 (土) ・11/1 (日)	永明地区文化祭	地区住民	中止	永明公民館
子ども会育成団体 連絡協議会	6/7 (日)	第45回子ども会卓球大会	小学生4年～6年	中止	永明小学校体育館
	9/13 (日)	第32回親子スマイルボウリング大会	小学生4年～6年 と保護者	中止	永明小学校体育館
	12/27 (日)	第40回子ども会上毛かるた大会	小学生1年～6年	中止	永明小学校体育館
体育協会	5/31 (日)	第41回ソフトボール大会	18歳以上の地区住民 (高校生は除く)	中止	桃ノ木川 グラウンド
	11/29 (日)	第41回卓球大会	18歳以上の地区住民 (高校生は除く)	中止	勤労福祉 センター 体育館
	2/21 (日)	第14回ソフトバレーボール大会	18歳以上の地区住民 (高校生は除く)	中止	木瀬中学校体育館
他	10/31 (土)	永明地区 青少年を明るく育てる集い (地区別会議)	地区住民	中止	永明公民館 多目的ホール

(2) 社会福祉協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	人数	会場
11月中	研修視察	社協役員等	中止	-
11/14 (土)	ふれあい交流会	社協役員・ 身障者等	中止	原町自治会館

(3) 地域づくり協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	人数	会場
5/10 (日)	炊き出し訓練 (のびゆく)	イベント参加者	中止	永明公民館
8/20 (木)	防災講座	地域住民	中止	永明公民館
9/5 (土)	ボウリング大会	地域住民	中止	地区内ボウリング場

10/13(火)	健康づくり講座	地域住民	中止	永明公民館
10/31(土)	炊き出し・防災訓練(文化祭)	イベント参加者	中止	永明公民館
12/6(土)	健康ウォーキング大会	地域住民	中止	永明地区内コース
3/7(日)	地域づくり推進大会	地域住民	中止	永明公民館

(4) 団体育成

自主学習グループへの援助と協力(39団体)

(5) 子ども会育成指導者・インリーダー研修

(1)ねらい

子ども会活動をより充実させるため、子ども会インリーダー・子ども会育成指導者を養成し資質の向上を図る。

(2)概要

地区子ども会員、子ども会育成会役員を対象にインリーダー講習会・指導者養成を実施。

(3)内容

子ども会指導者講習会

月日・時間	学習主題・内容	講師・協力者(敬称略)	人数	会場
6/18(土) 14:00~16:00	リーダーキャンプ講習会 (事前講習会)	市子育連役員	中止	永明公民館
6/28(日) 8:00~16:00	リーダーキャンプ講習会 (実技等講習会)	市子育連役員		SUBARU ふれあいの森赤城

子ども会育成指導者講習会

月日	事業内容	講師・協力者(敬称略)	人数	会場
5/25(月) 19:00~20:30	初級指導者講習会	市子育連役員	中止	永明公民館
6/1(月) 19:30~20:50	卓球審判講習会	永明卓球クラブ 矢島 一紀	中止	永明公民館
6/18(土) 14:00~16:00	リーダーキャンプ講習会 事前講習会	市子育連役員	中止	永明公民館
9/7(月) 19:00~21:00	スマイルボウリング審判講習会	スポーツ推進委員 栗本 直樹	中止	永明公民館
11/30(月) 19:00~21:00	上毛かるた審判講習会	田代 光夫	中止	永明公民館

永明地区の地域資源を活かしたコミュニティデザイン2021（願い・思い編）

①. みんなで子育てするまち＝子どもがすくすく育つまち

- ・ふれあいを通してより良い親子関係を築く
- ・公民館の講座や地域事業を通して子育ての悩みや不安が解消される
- ・親どうし、子どもどうしの仲間づくりが進む
- ・お父さんが子育てに関わる機会が増える
- ・穏やかな心で子どもに接することで、虐待が無くなる
- ・地域みんなが子育てを応援するという意識が高まる
- ・安心して子育てができるまちになる



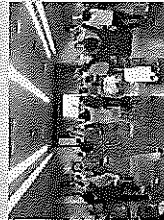
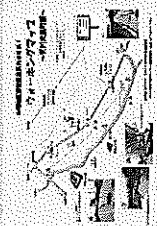
②. 青少年が明るく元気に育つまち

- ・「のびゆくこどもつどい」や公民館講座で体験の場を提供する
- ・公民館講座の体験型・チャレンジ型メニューを充実させる
- ・小中学生を主役とした地区行事を開催する
- ・地域寺子屋により多くの中学生が公民館に集い交流する
- ・地域住民に力を披露する機会を設ける（合唱、吹奏楽等）
- ・青少年育成団体のマンパワーを活かして子どもたちを育てる



③. 地域とのつながりの中で元氣な生活を築き上げるまち

- ・自主学習グループを支援して、住民のつながりの輪を広げる
- ・公民館講座や自主学習活動を通じて、住民の居場所づくりや仲間づくりを推進し、共助・互助の意識を高める
- ・健康ウォーキングマップを活用して健康増進につなげる
- ・保健推進員や食生活改善推進員と連携し、保健衛生の向上とともに健康寿命の延伸にもつなげる



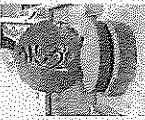
地域づくり協議会と協働した取り組み

- ◆地域づくり推進大会の開催、地域づくりニュースの発行（総務広報部会）
- ◆LPガスバルブを活用した防災炊き出し訓練、防災講座等の開催（安心安全部会）
- ◆健康ウォーキング大会、健康づくり講座の開催（健康づくり部会）
- ◆世代間交流ボーリング大会、家族料理教室開催



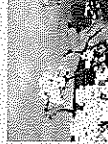
④. 地域の歴史や文化を大切に守るまち

- ・公民館の講座や地域行事を通して、地域の歴史や文化に対する興味を高める
- ・古文書の解説などから、地域の歴史を知る
- ・歴史的遺産を大切に保存し、次世代に受け継ぐ
- ・石造物・石仏等を大切に保存し、行事等に活用する
- ・重要無形文化財等を大切に保存し、次世代に継承する（下長磯町操翁式三番叟、駒形町夏祭りなど）
- ・健康ウォーキングコース沿いの文化財を、地域住民に広める
- ・地域への誇りや愛着を高める



⑤. 地域ブランドを活かして郷土愛を培うまち

- ・地元企業と連携し、地域の魅力を住民に伝える
- ・幅広い世代を対象に、ウクレレの魅力との出会いを提供する
- ・大島梨を活用し、郷土愛を醸成する



⑥. 地域の豊かな人材を活かして住民同士がつながるまち

- ・共愛学園前橋国際大学や専門学校と連携し、住民の学びを推進する
- ・自主学習グループの人材を活用して、互いに学びを高める場を提供する
- ・幅広い分野の出前講座を活用して、住民の学習ニーズに応える
- ・地域で活躍する生涯学習奨励員等の協力を得て、学習意欲を向上させ郷土愛の醸成につなげる
- ・自主学習グループでの学びあいの中で、新たな人材の発掘につなげる
- ・スポーツを通して住民同士がつながり、健康の増進につなげる
- ・青少年育成団体が主体的に子どもたちと関わり、健全育成に貢献する



永明地区の地域資源を活かしたコミュニティデザイン2021(仕掛ける・つなぐ編)

公民館という仕掛け(運営方針)

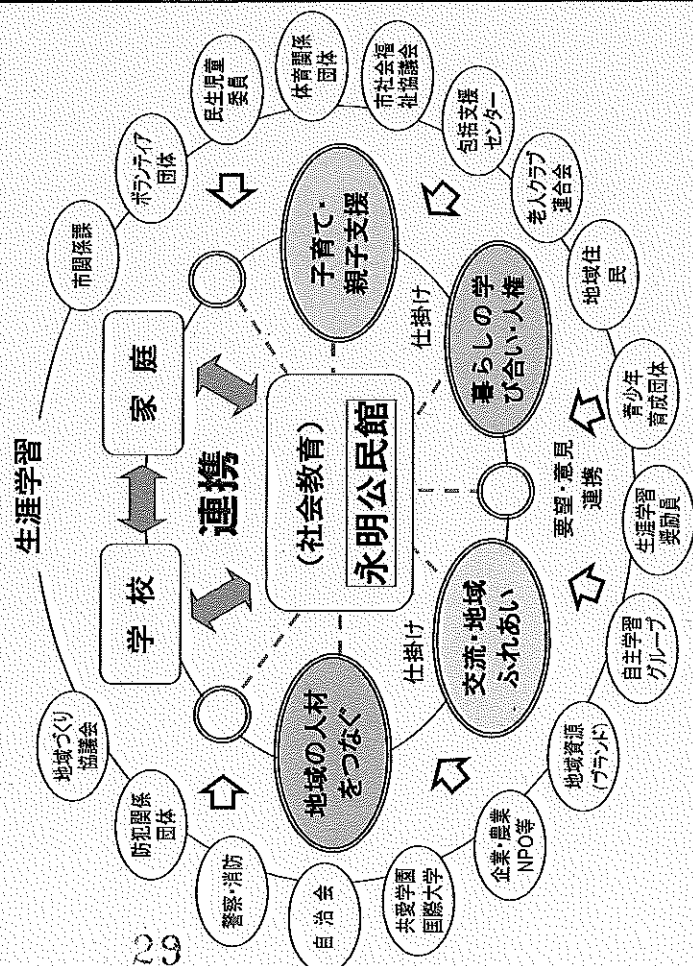
- (1) 公民館は、住民にとっての居場所であり、交流拠点でもあるので、気軽につどい、共に学び、つながる場を提供し、地域社会に密着した公民館運営を推進する。
- (2) 「今の時代」「地域特性」を意識した講座の充実を図るとともに、学んだ成果を地域に還元することができると人材を輩出する。
- (3) 地域資源(地域ブランド)を生かして、地域の連帯感や郷土愛の醸成を図ることにより、住んで良かったと思える、末永く明るい(永明)公民館づくりを行う。

永明公民館

分野別の仕掛け(重点施策)

永明地区の
願い・思い

仕掛けのイメージ



子育て・親子支援に関する仕掛け

- ・孤立しがちな母親への学習機会を提供する
- ・親子のふれあいを取り入れた子育て・親子支援事業の実施
- ・父親の子育てへの参画を促進する講座の実施
- ・地域で子育てを応援する取り組みの推進
- 【連携・協力】子育て支援課、共愛学園前橋国際大学、保健推進員、民生児童委員、ボランティア団体、食生活改善推進員、その他地域団体 等

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け (より良い生活づくり)

- ・今の時代を意識した、幅広い世代に対応した講座の開催
- ・青少年体験・チャレンジ活動として、子どもたちの好奇心や学習ニーズに対応した体験型教室の開催、青少年が参加しやすい行事の開催で健やかな成長を支援
- ・健康寿命の延伸を目指した健康づくり事業実施、生活支援が必要とされる住民に対する地域福祉の推進
- 【連携・協力】老人クラブ連合会、共愛学園前橋国際大学、公民館学習グループ、保健推進員会、青少年育成団体、体育関係団体、民児協、市社協、包括支援センター、その他地域団体 等

交流・地域ふれあいに対応する仕掛け (地域資源の活用)

- ・地域の文化遺産を学ぶ機会の提供による郷土愛の醸成
- ・地域に埋もれた古文書や石造物等の歴史的遺産の活用
- ・地域ブランド(ウクレレや大島梨等)を活かした事業の企画、実施
- 【連携・協力】地域づくり協議会、共愛学園前橋国際大学、ウクレレ製造会社、公民館学習グループ、果樹組合、JA、酒造会社、その他地域団体 等

地域の人材をつなぐ仕掛け (自主学習グループ・奨励員活動支援等)

- ・教育機関との連携：多様な教育資源を有する共愛学園前橋国際大学や専門学校と多方面において連携し、その知的財産を地域住民に還元し、地域に根ざした人材育成につなげる。
- ・知の循環：生涯学習奨励員や自主学習グループへの活動支援とともに、近隣の教育機関との連携協力による公民館講座の運営側に参画を促し、知の循環につなげる。
- ・地域づくり協議会との共催：地域づくり協議会の活動(安心安全、健康づくり、世代間交流)、公民館事業との連携のあり方を研究し、地域づくりの担い手育成につなげる。
- ・様々な地域団体との連携：防災、防犯、見守り等の実施により、安全なまちづくりを目指す。

① みんなで子育て
をするまちは子ども
がすくすく育つ
まち

② 青少年が明るく元
気に育つまち

③ 地域とのつながり
の中で元氣な生活
を楽しくめるまち

④ 地域の歴史や文
化を大切にするま
ち

⑤ 地域のブランドを
活かして郷土愛を
培うまち

⑥ 地域の豊かな人
材を活かして住民
同士がつながるま
ち

